

茅場君と僕のえすえーおー……

九十九宇宙

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

この物語は……茅場晶彦の一言から始まる……

「九十九くん……SAOの……デスゲームの開発を手伝ってくれ……」

主人公の九十九雷巡がSAOの開発やプレイで何を感じるのか……

目次

デスゲーム……作るつもりなんすか？

デスゲーム……作るつもりなんすか？

茅場「九十九君」

九十九「なんすか？」

茅場「SAOの……デスゲームの開発を手伝ってくれ……」

……は？茅場君は何を言ってるんだ？

九十九「……2つ聞いていいすか？」

茅場「なんだね？」

九十九「SAO開発は手伝いますけど……茅場君と違って俺は金払えば入れてくれる三流大卒っすよ？」

茅場「そこら辺は大丈夫だ……脳筋でも出来る事だから」

茅場君にとって俺って脳筋キャラなん？

九十九「最後に……デスゲームってなんすか？」

茅場君説明中……

九十九「マジ……すか……」

茅場「お願い出来るか？」

九十九「テロリストじゃないですか！……まあ手伝いますけど……俺の唯一の友達の頼みだし……」

茅場「ありがとう九十九君」

九十九「つーか俺がこれを警察に言わないかって思わなかったんですか？」

茅場「そこは君を信頼していたからねえ」

ふーん……

九十九「茅場君……SAOがクリアされたらどうすんの？」

茅場「それは……」

言葉が詰まる茅場

茅場「……その時に教えるさ」

考えてねーなコイツ

九十九「さて……俺は何を手伝えればいいのかな？」

茅場「フィールドやモンスター……ソードスキルは完成してるんだ」

九十九「俺がする仕事無くね？」

茅場「……あるさ……」

そう言い茅場は本を大量に渡してきた

九十九「……？日本の都市伝説百選！、猿や中卒ニートでもわかるギリシャ神話前編後編、そこそ怖いゲーム敵キャラ集、オール1でもわかるクトウルフ神話前編後編、モンハン攻略本、敵キャラの心理とは、死神の種類について、京都ガイドブック？」

「なんやコレ……統一性無すぎだろ……なんだよ京都ガイドブックて

九十九「茅場君……これをどーしろと？（震え声）」

茅場「クエストを考えて欲しいのだよ」

九十九「京都ガイドブックって必要……っすか？」

茅場「……すまんそれは関係ない」

よかった……茅場君の頭が遂にイカれたかと……

九十九「……茅場君……クエストってき別に1人でも考えれね？」

茅場「……私には無理だったんだ……」

九十九「そすか……」

ノルマってどうなんだろ……

茅場「ノルマは発売日までに18万6千個だ」

九十九「心読まないください……っーか発売日って……」

2年後……？」

……

九十九「はあ!?無理っすよ!?!」

茅場「頑張れ!お前なら出来る!出来る!」

九十九「どこの団長だテメエええええ!」

無理だろ!

茅場「アキラメンナヨ!」

九十九「修造は帰れやあああああ!」

おかしい!コイツの頭イカれてやがる!1年で18万6千個とか

無理だろ！

茅場「じゃあねー」

九十九「待てや糞茅場あああああ！」